

知って備える 防災メモ

第100回



大雨に備えて ～6月は『水防月間』～

これからの季節は、大雨による崖崩れや河川の氾濫などの災害が発生しやすい時期です。

また、昨今では、数年に一度程度しか発生しないような大雨が、全国各地で観測されるなど、異常気象と呼ばれる現象が増加しています。

国土交通省では、防災・減災の取り組みの一環として、梅雨や台風の時期を迎えるにあたり、国民一人ひとりが水防の意義と重要性について理解を深められるよう、毎年6月を『水防月間』として定めています。

この機会に、自分が住んでいる地域に潜む危険性や対策などについて、改めて確認しましょう。

情報を知り、危険を感じたら 早めの避難

天気予報や気象庁が発表する大雨情報などは、日ごろから確認しましょう。

市が発行する『登別市防災マップ』では、各地域における洪水による浸水の深さ、土砂災害危険箇所、最寄

りの避難所などの情報を確認することができます。

また、国土交通省の『川の防災情報』ウェブサイトでは、川の水位や雨の状況を確認することができ、河川沿いに設置したカメラの映像により、川に近づかなくても状況を知ることができま

増水時は川に近づかない

川が増水しているときは、川の流れが速く、橋が壊れたり、流されたりして非常に危険です。

大雨のときに川や用水路、農地の様子を見に行き、誤って川や用水路に流されるといった被害に遭う可能性もありますので、決して近づかないでください。



▲市防災マップ



▲川の防災情報

▼問い合わせ

総務グループ (☎01130)

SDGs

身近なことから始めよう

私たちの

SDGsってなんだろう

SDGsは、2015年9月に国連サミットで採択された『誰一人取り残さない、持続可能で、より良い社会』の実現を目指す世界共通の目標です。

2030年までに17の目標を達成し、より良い未来を築くことを目指しています。

国際機関や政府、企業などはもちろん、今を生きるすべての人が、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています。17の目標は幅広く、具体的に何をしたらいいのか想像しにくいかもしれません。

『今日からできる身近なSDGs』を参考に、未来を見据えて今すべきことを考えましょう。

今日からできる身近なSDGs



1 貧困をなくそう
・不要な服は寄附しよう
・『赤い羽根共同募金』などに寄附しよう



2 飢餓をゼロに
・食事は栄養バランスを大切に、オーガニックな食材を使おう



3 すべての人に健康と福祉を
・徒歩で通勤・通学しよう
・マスクの着用や手洗い、うがいを徹底しよう



4 質の高い教育をみんなに
・新聞やニュースで社会の状況を調べよう
・環境イベントに参加しよう

企画調整グループ (TEL01122)

17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	